

令和4年度 北九州地域産業人材育成フォーラム地域連携型インターンシップ

研修型（短期）インターンシップ
実施後アンケート 集計結果

【受入企業版】

北九州地域産業人材育成フォーラム
2023年1月

●アンケート概要

アンケート期間：2022年8月中旬～11月下旬

対象：令和4年度 インターンシップ実施企業 32社

回収社数：29社 (回収率 91%)

1. 2022年度のインターンシップの受入人数について

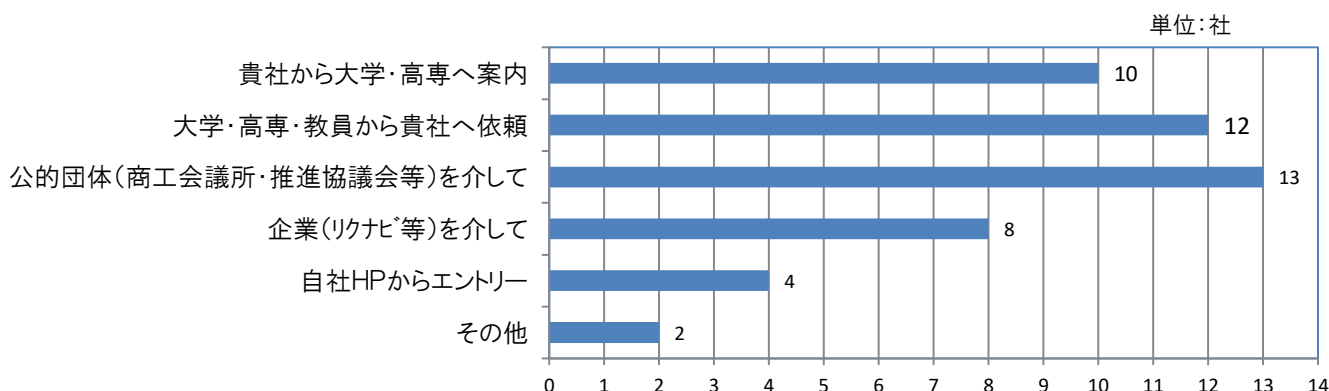
単位:社

	1名	2～5名	6～9名	10～14名	15名以上
会社全体のインターンシップ受入状況	10	12	1	5	1

単位:社

	フォーラムのみ	1～3名	4～5名	6～9名	10～14名	15名以上
フォーラム以外でのインターンシップ受入状況	12	10	1	2	1	1

2. 当フォーラム以外でのインターンシップの受入方法について (複数回答可)



(上記方法を選択した理由)

- 多様な学生の受け入れを考えている為
- 地元の最寄りの工業高校への貢献、採用活動の一環と
- 受入の窓口を広げることで、理系(土木系)以外の学生の応募を期待している
- 義肢装具専門校の実習生は就職に結びつくことが多いため積極的に受入している
- 弊社社員の既卒学校より以前頼まれて、それ以来ずっと案内を出している
- 企業単体での告知においては、学生に対しての周知・集客に課題がある状態と考えております
そこで、様々な媒体・告知方法を拡大する事で上記課題をクリアする必要がある為
- 24卒以降の採用活動を見据え、企業PRも含めて、様々な窓口・媒体での受け入れを行っています
- マイナビ・リクナビからの受け入れが大半で、残りの1～2割くらいが大学又はHPから申込いただいている
- KPEC組織に属さない為に弊社からご案内
- 「インターンシップ」は社員教育の意味も大きく、年間20名程度を目標としているため、出来るだけ間口を広げたい事から

3. 2022年度インターンシップで受入を行った学生の所属学校について (複数回答)

大学名	企業数	大学名	企業数	大学名	企業数
九州産業大学	6	佐賀大学	1	山口東京理科大学	2
福岡大学	2	崇城大学	1	山口大学大学院	1
福岡工業大学	2	熊本大学	1	東京都立大学	2
九州共立大学	2	大分大学	1		
西日本工業大学	1	鹿児島大学	1		

※フォーラム連携学校、高校は除く

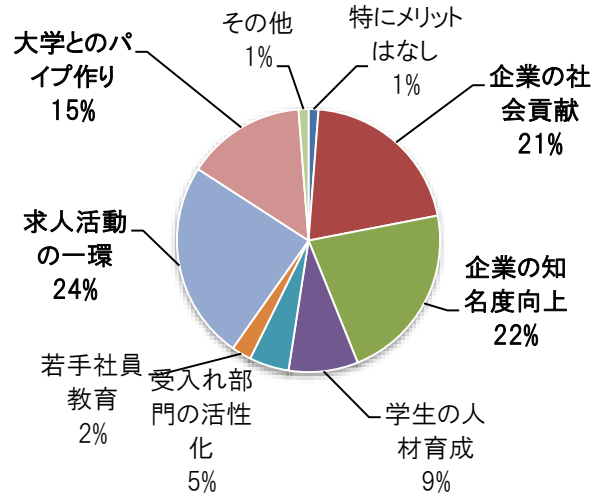
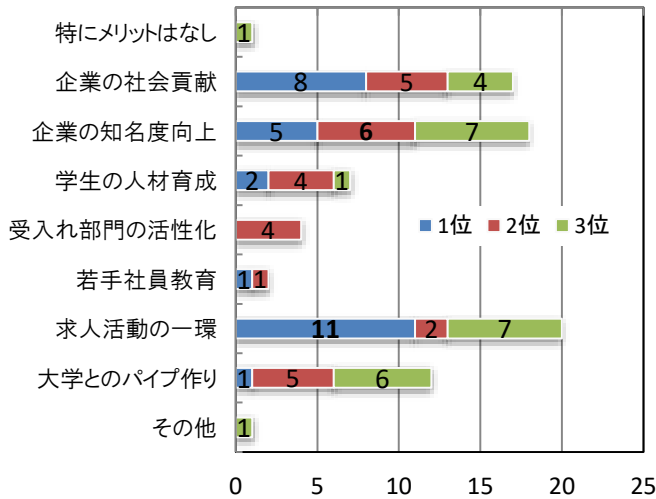
(以下1社)

北海道科学大学(義肢装具専門校)、岩手大学大学院、岩手大学、盛岡大学、東北工業大学、東北学院大学、秋田大学、山形大学、福島大学、宇都宮大学、埼玉大学大学院、埼玉大学、千葉工業大学

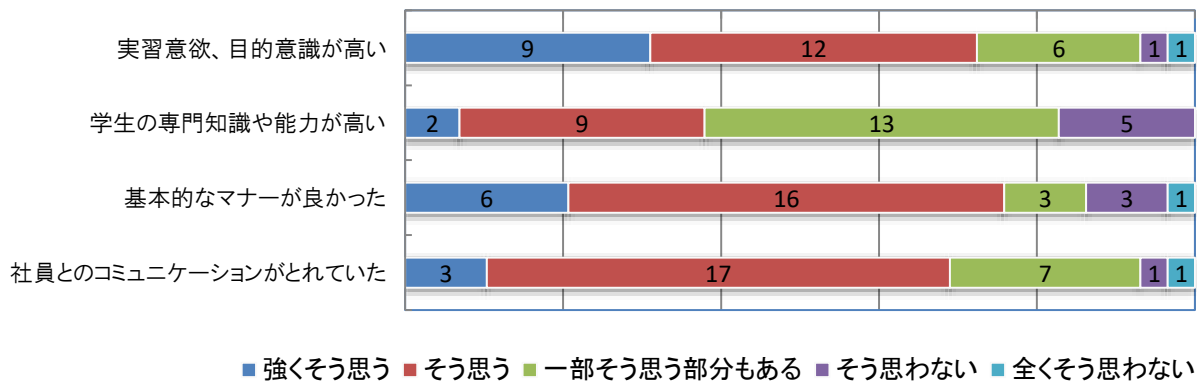
法政大学、日本大学、東洋大学、東邦大学、中央大学、早稲田大学、創価大学(大学院)、長岡技術科学大学、京都産業大学、大阪工業大学、島根大学、広島大学、広島国際大学(義肢装具専門校)、広島工業大学

日本聴能言語学院(義肢装具専門校)、福島工業高等専門学校、呉工業高等専門学校、米子工業高等専門

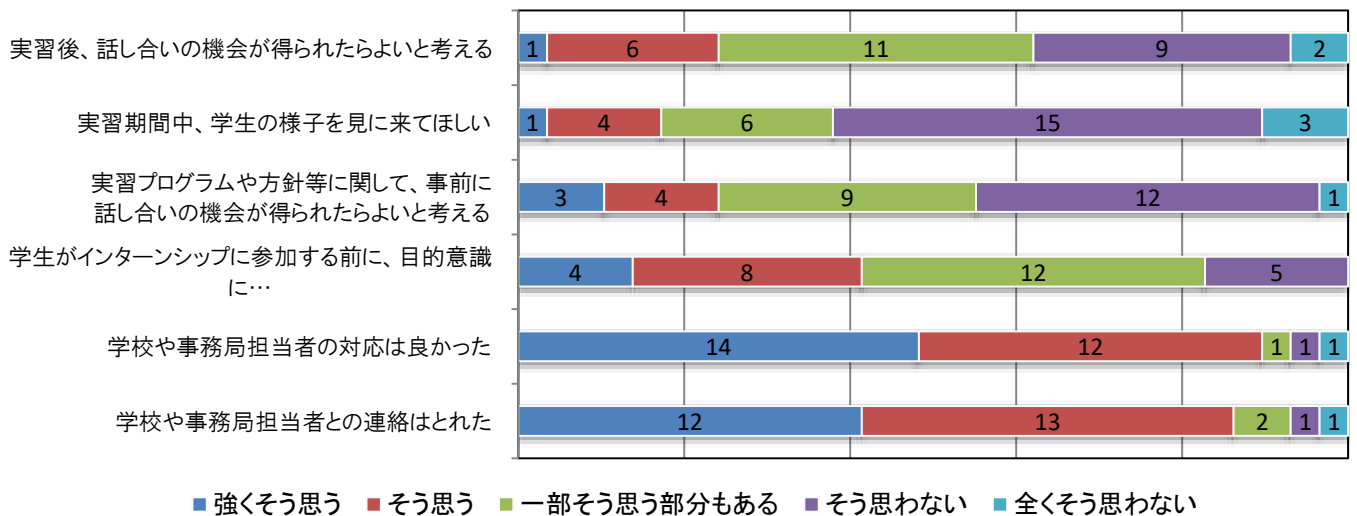
4. インターンシップを受け入れることによるメリットについて(優先順位3位まで回答)



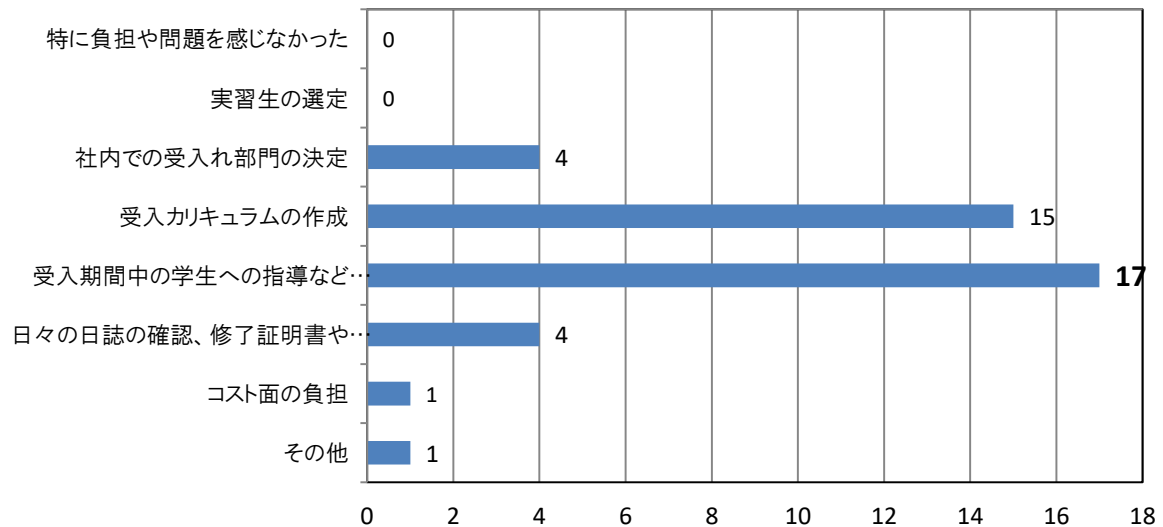
5. 2021年度インターンシップで受入を行った学生について



6. 学校や事務局の対応について



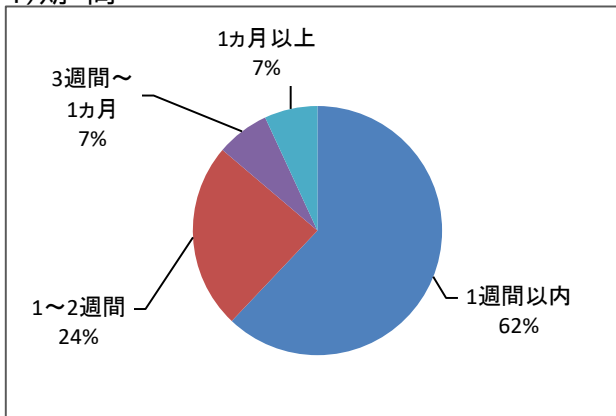
7. 受入に関して、どのようなところが負担や問題になっているか



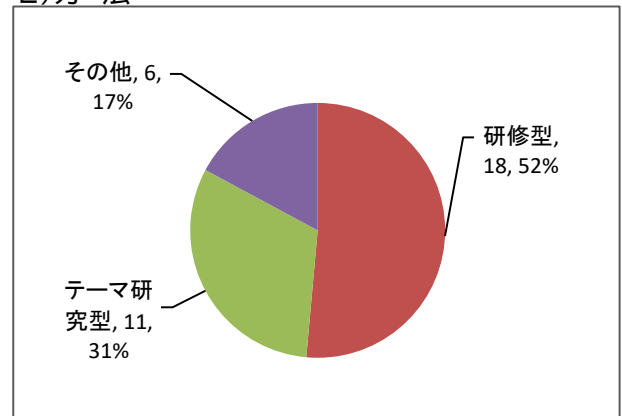
(その他) ・学生さんの机、PC(CADソフト)の確保

8. 貴社が考える有効なインターンシップの方法について

1) 期間



2) 方法



9. その他、フォーラムのインターンシップに関するご意見・ご要望・ご感想など(原文のまま)

- ・ 好事例の紹介などしていただくと参考になります。

- ・ 弊社インターンシップでは、毎回独自にて内容の報告書をPDFにて作成しております。インターンシップ検討中の学生様に、より詳細な情報を提供致したく、貴社フォーラムサイトの各企業のインターンシップの募集内容が一覧となったページに、(https://www.kpec.or.jp/jinzai/isc/?_type=list)「詳細情報」などといったタブボタンを設けて頂き、アップロードをさせて頂ければと存じます。また、現状でも「インターンシップ事例紹介」のボタンタブのアップロード内容を形式不問にして頂くことでも上記は可能と存じます。ご検討のほど宜しくお願い申し上げます。また、アップロードする際には、氏名は伏せ、顔写真はモザイクを掛けたり、撮影方向を配慮したものを活用します。

- ・ 5日間ありがとうございました。
学生さん自身は、自分が学んでいることと違う業界だったとのことですが分からないなりに理解しようと努めてくださいました。
今後とも、よろしくお願いいたします。

参加学生の学習意欲は十分に高いと思います。
最終日の成果発表では、それぞれから当社の仕事内容への理解度の高さを感じられました。

・ フォーラム連携学校からまんべんなく参加いただける状況が構築できればと思います。

今回の学生さんが特別だったのかもしれませんが、インターンシップ実習に対する態度に問題がありました。
つきましては、インターンシップに参加する前の教育をしっかりと実施していただきたいと思います。

・ 学生は大変まじめで研修態度はよいと思いました。2年生であるため専門性がまだ不足しているため、テーマがわかりずらく思いました。

【全体所感】

・小規模事業所の実態を知って頂く良い機会になった。
・建築業は若者の入職率が低い業種の為、魅力や意義を知ってもらえたり、若者の視点で見た建築業の印象や課題を知れた。

【学生さんの様子】

・主体的に取り組んで頂き、楽しく・円滑に進めることができた。
・積極的な質問や、問題定義もあり短期間ではあったが、確かな成長を感じた。

【自社の様子】

・初めての受け入れという事もあり、自社の機能や教育の仕組みを整理する良い機会となった、社員教育の活用になる。
・若者の率直な意見を伺えることで、自社の文化、人事制度、待遇面などの整備に参考になる。
・高齢化が進む産業に若い方が来て頂けること自体で、よい空気が吹き込まれる。学生の採用により積極的な意識が生まれた。

・ 学生に対しての周知等ご支援を頂き誠にありがとうございました。
学生のご感想を参考に、満足度がより高い内容になるよう精査してまいります。
引き続き何卒よろしくお願いたします。

・ 実習参加の学生は、総じて高い意欲が感じられ、前向きに取り組んでいただきました。
同時に参加した学生同士で役割分担し、助け合いながら実習を進めていた点が良かったと感じました。
最終日の発表会には、フォーラムや大学からも参加していただき、ありがとうございました。

・ 大変優秀で純粋な学生さん達で、私共も初心に帰るような思いでした。今後このような機会を通じ、若い方に少しでも弊社の業務内容に興味を持っていただき、将来の就職先候補になっていただければ光栄です。

・ 自身の目標・目的を明確にしておられ、礼儀正しい学生さんでした。

まずは本、インターンシップ応募に際し有難うございます、お電話対応などとても好印象で、気軽にご相談できましたことに御礼申し上げます。今回のインターンシップを受け入れでの所感を以下のように書き記しましたのでよろしくお願いいたします。

・全般を通じて、受講姿勢、態度問題なくコミュニケーション力も図れている。

・最終日のインターンシップ実践報告会では限られた時間に簡潔に整理されており、感動した。

・AGVとは、AMRとはの文字の意味合いから、顧客要求に対しての営業、設計のあり方に自分の専攻分野と照らし合わせ考え、ほぼ理解を示された。また体感型の実践演習では弊社で準備したガイドマニュアルに頼ることなく、ご自身で考え、改善工夫され、最善に導いていたことに感心した。(現在の文明社会において、考え創造するまえに、出来上がった商品に大して、動かしたり操作したりする時代を過ごされている年代ですが、ものの原理原則や工夫したり創造うあ思考力をしっかり身につけられていると感じ、大学学校教育に感謝したい)

・弊社の立ち位置(BtoB)の理解と取り巻く環境などについても良い経験と位置付けていただいた。この5日間は「楽しく過ごしていただく」を念頭にカリキュラムを進めてきて、ご本人より評価を頂きました。

・大学4年や研究室で持ち前のスキルを発揮され、立派なエンジニアになられてください、日本のモノづくりの文化を磨き高めていける人財だと感じました。

本年度もご協力いただきありがとうございました。

・おかげさまで2名の学生を受け入れさせていただき、研修中は弊社社員とも話す機会を設け、弊社社員にも良い刺激になったと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

通勤を含めての「体験型のIS」を基本としていますが、公共交通機関等の諸事情により難しい場面が多かったのは今後の課題となりました。また台風で1日少なくなったことで(一応の目的は達成できましたが)テーマの深掘りが不十分になった事は反省材料です。

最終日の昼食時に弊社社員(5名)、IS生(フォーラムIS生を含め5名)で座談会をしましたが、しっかり会話は出来ていたようで、フォーラムIS生からも「社員から、また他大学の学生から色々聞くことが出来て面白かった」とのコメントがありました。

最後に、毎回ですが、ISに対する弊社と学校側の思い(狙い)が合致しているかどうかは気になります。特にこの1年生対象のISも3年目となりますのでこれまでの実績から「学校側が考えるISのあるべき姿」等がありましたらご教示ください。

今回は留学生がインターンシップに参加してくれました。日本語がある程度わかるが、仕事に関わる日本語の理解が難しいように感じた。

各部署からも質問と回答がかみ合わない部分があり、理解をしてもらう工夫が必要だと感じた。

内容は、各グループの業務について説明を受け、部門の説明資料を作ってもらいました。

学生さんの専攻により近い形で図面を書いたり、ロボットシステムの説明を受けました。

最終日にはまとめとして報告を受けましたが、日本語(漢字)などを上手に使いわかりやすい資料を作ってくれました。ホームページの英語版をお願いしたのでさらに業務内容などを理解することにつながったのではないかと思います。

気になった点は2点、1点目は衛生面でいうと、体臭や香水が強く感じた。2点目はインターンシップは意欲的に取り組んでくれましたが自宅で資料まとめをしてくれたようで、USBで保管した資料を会社PCに入れたところ、ウィルスソフトが稼働してしまった。会社PC使用に対するルールを説明していなかったのも、今後受入の場合は社内のルール決めなど必要を感じました。

学生さんがとても素直で学が意識が高いことに驚きました。素直で可愛い学生さんなので長期であればもっとコミュニケーションを取れたのにと残念に感じます。わが社の題として今回のインターンシップに参加して気づきがありました。ありがとうございました。